

## 明治～昭和前期の地震・噴火に関する新聞記事データベース

静岡大学教育学部\* 福山雅嗣・谷口敬介・小山真人

東京大学地震研究所には、明治から昭和前期に至る期間に起きた自然災害に関する多くの資料が保管されている。その中のひとつとして新聞記事の切り抜き集があり、明治20年代から昭和16年初頭までの自然災害に関する新聞記事を集めたもので、148冊に及ぶ。1巻あたりの記事数は、巻によってばらつきはあるものの、昭和期ではおよそ70～100項/巻であり、その内容は、地震、火山から風水害までの広範囲に及んでいる。また、これらの記事の中には、東京や大阪など都市部の新聞社の記事だけでなく、官報や現在では入手困難な地方紙まで含まれている。

これらの記事は当時の災害様相の細部や、災害情報伝達・防災対応などの実態を知るための史料として貴重なものである。しかし、かなりの年月が経過しているうえに、数年前からは保管場所が空調設備の不十分なプレハブ棟に移動されたため、保存状態が悪化している。また、量が莫大であり、内容も火山・地震に限らず様々な自然災害を含んでいるため、利用する際に目的の記事を探すのに大変な時間と労力を要する。

そこで、本研究では、資料のバックアップと内容の整理、利便性の向上を目的として、この史料全部のゼロックスコピーを作成するとともに、電子索引としてのデータベースを作成する事にした。

データベース作成にはMicrosoft社の表計算ソフトExcelを使用した。Excelは汎用性が高く、集計や検索なども容易にできる上、データベースを公開した場合に誰もが容易に利用することが可能である。

データベース作成に取り掛かる前に、各巻ごとのインデックスを作成した。このインデックスにはそれぞれの巻の通し番号、各巻の最初および最終記事の年月日、主な記載事項(多数の記事が掲載されている災害名)を入力した。

データベース本体には、記事を含む巻の通し番号、記事の年月日、掲載されていた新聞名、記事の分類、発生場所、記事内容を記載した。記事の分類については、自然災害とそれ以外の自然現象に大きく2分し、

自然災害は更に11種(火山、地震、土砂災害、水害、台風、風害、干害、津波、雪害、気象情報・データ、その他)に細分した。また、発生場所は記事の記載に従って入力した。記事内容については、記事全文を入力するには大変な労力が必要となるので、とりあえず記事の概要のみを記すこととした。

現在、昭和期の資料全 38 冊すべてについてデータベース化を終え、記事収集基準や内容の分析をおこなっている。

今後は、より利用しやすいものになるよう多くの人の意見を参考に改善していきたい。

\* 〒422-8529 静岡市大谷 836